

地方から広げる「医療」 の概念

医療法人やまと 理事長 田上佑
輔
登米市行政アドバイザー

診療所は何をする所ですか？



診療所10万>コンビニ5万

略歴



田上佑輔（たのうえゆうすけ） 35歳

1980年5月9日生

出身：熊本

1996.4 鹿児島私立ラサール高校

1999.4 東京大学理科III類

2005.3 東京大学医学部卒

2005.4 千葉県国保旭中央病院研修医

2007.4 同院外科専修医

2010.4 東京大学医学部付属病院腫瘍外科

Softbank academia

2013.4 やまと在宅診療所登米院長

現在：

やまと診療所院長



東日本大震災ボランティア団体
若者を被災地へ

2013年～被災地宮城県登米市で診療所開業

東日本大震災後に、院長の田上を中心に宮城県気仙沼市、登米市の週末の日当直に医師を派遣するプロジェクトを約1年半実施。

その後、登米市より継続的な医療活動の要請があり、地域包括ケア体制構築に向けた在宅診療を中心とする地域医療の診療所を開設いたしました。

診療所は、登米市民病院敷地内に位置し仙台から車で1時間、新幹線くりこま高原駅（東京から2時間程度）から車で15分程度の所にあります。



宮城県北部に位置する登米市。震災の影響が大きい南三陸町の内陸にある市です。



市民病院の敷地内にある、やまと在宅診療所登米



10年以上前から
医療課題は変わらない

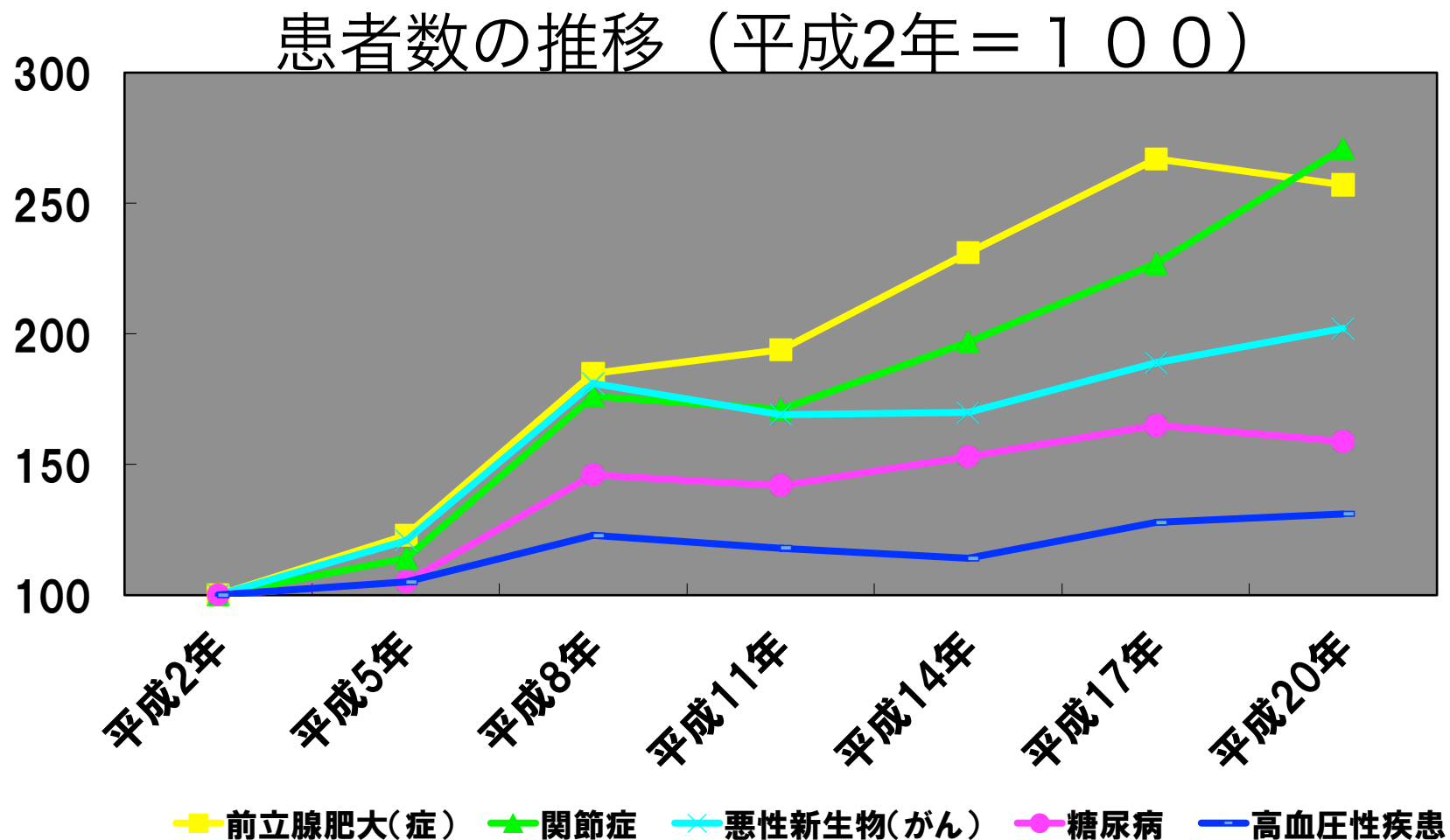
国民の

3人に1人
が病気

日本人の延べ病人数は・・・

2億5千万人

病人数は増加の一途

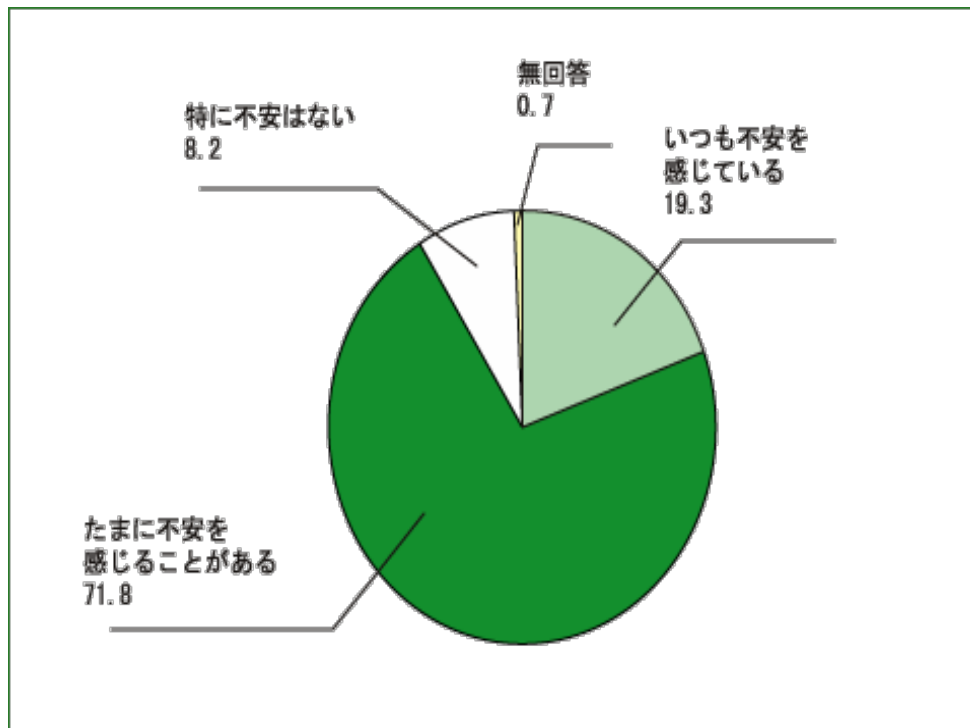


高齢化による在宅療養者の増加



50万人
年間7～8万人
ベースで増加
中

健康に不安を感じる人は

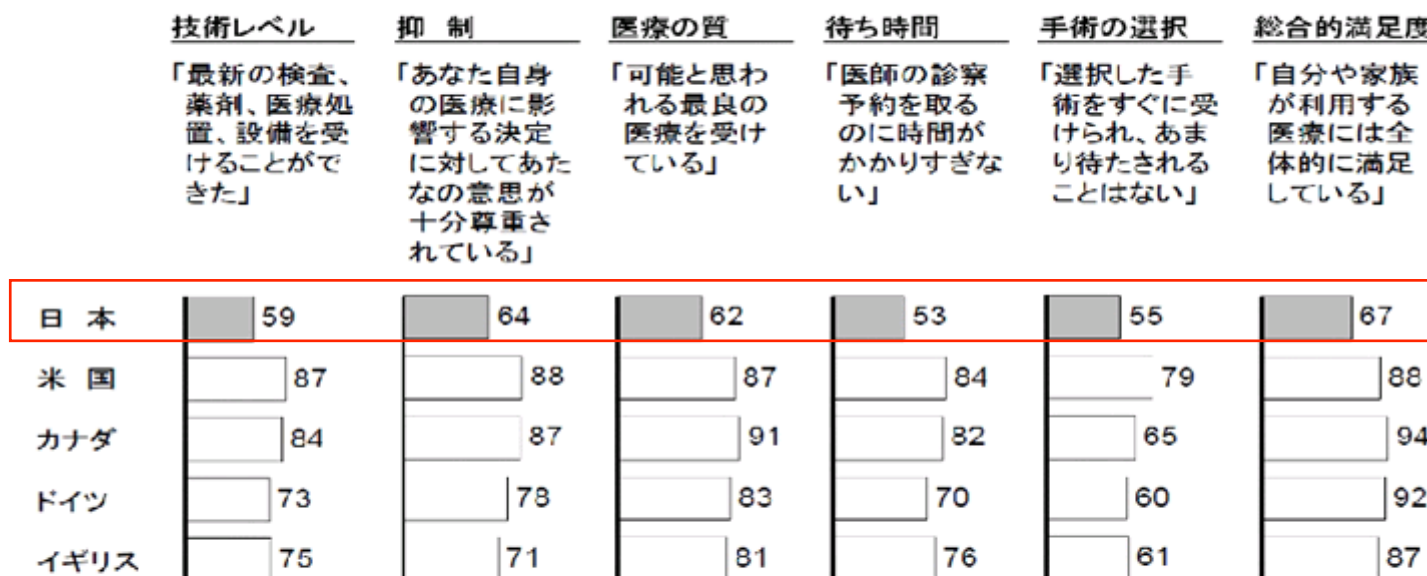


90%

(中高年に対するアンケート)

日本の患者は不満を抱えている

国際的な患者満足度調査の結果
(満足したという回答者の%; 1990年)



資料：ハーバード・コミュニティ・ヘルス・プランのLouis Harris and Associatesが実施した各国の患者1,000人についての調査、マッキンゼー分析

待ち時間に不満を持つ人は

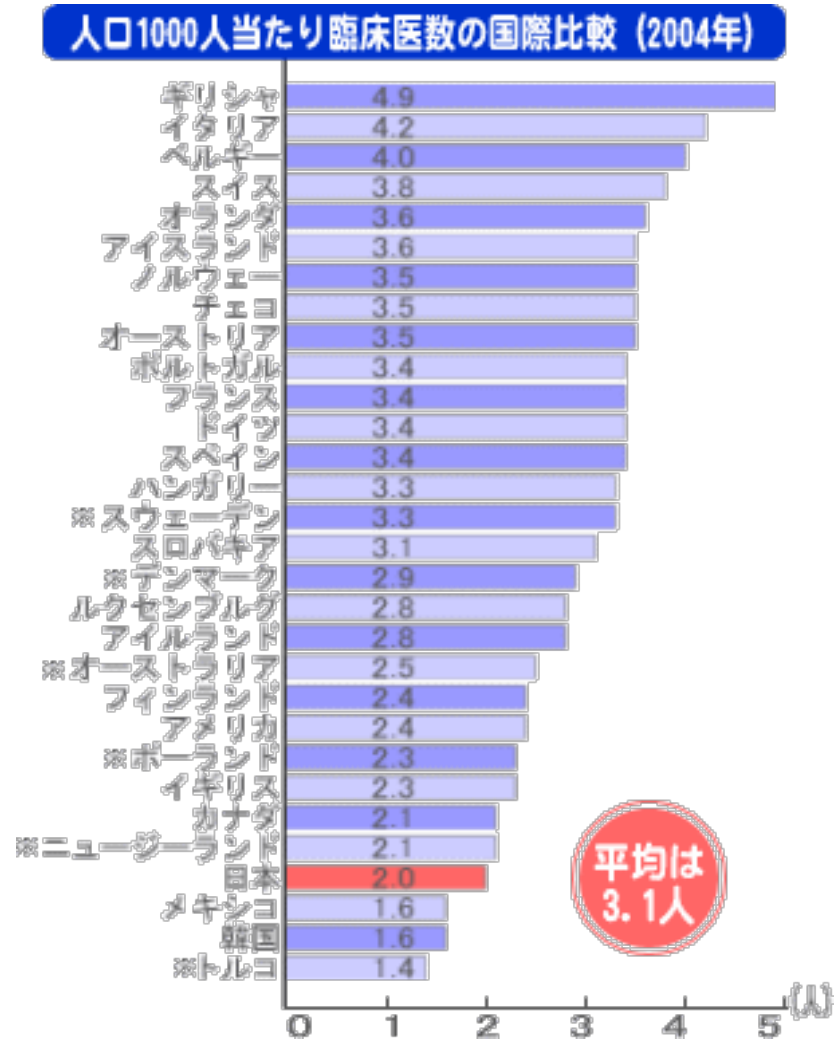


1 8 0 万人
(1 日 当 た
り)

医療者と患者の情報格差



医師の数が不足

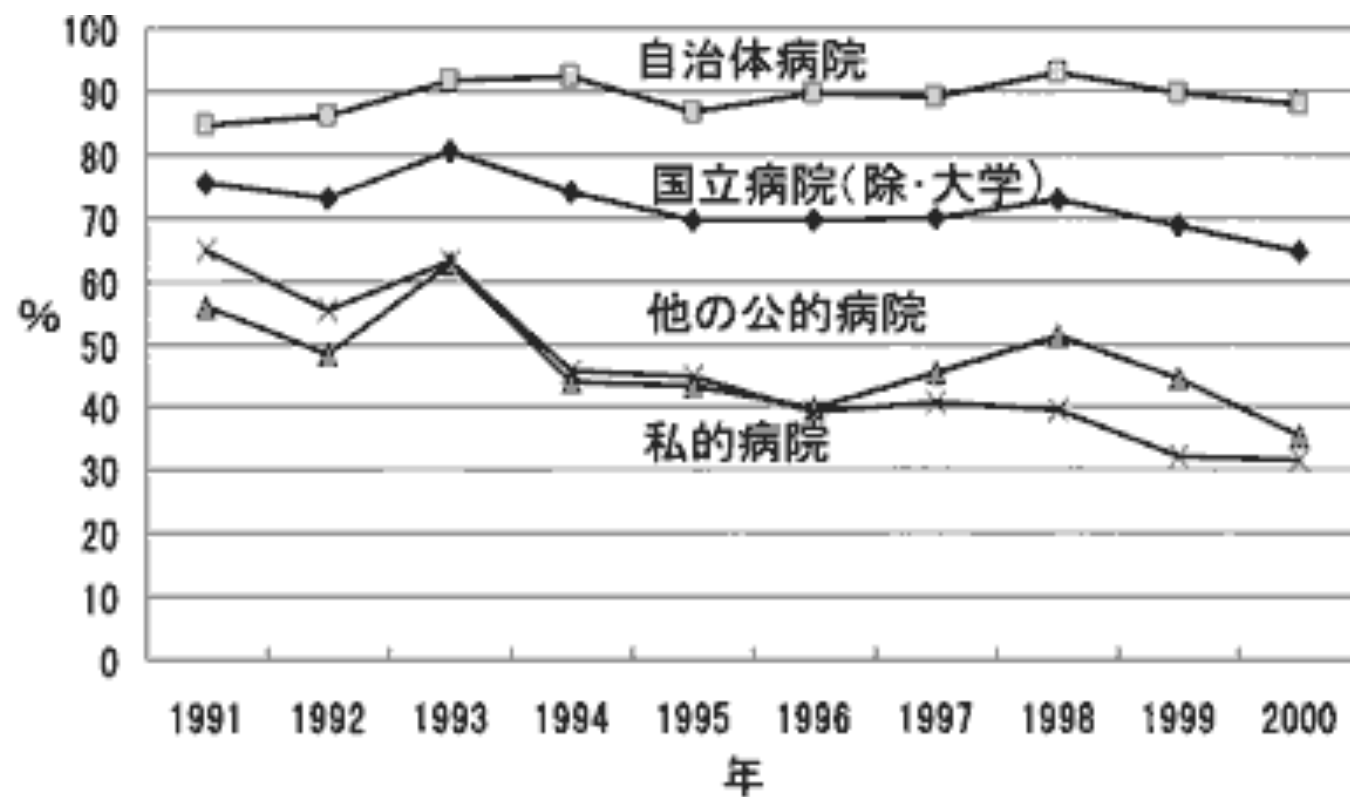


医師から見た課題

1. 長時間労働／低時給
2. 専門分野以外にも対応するので非効率

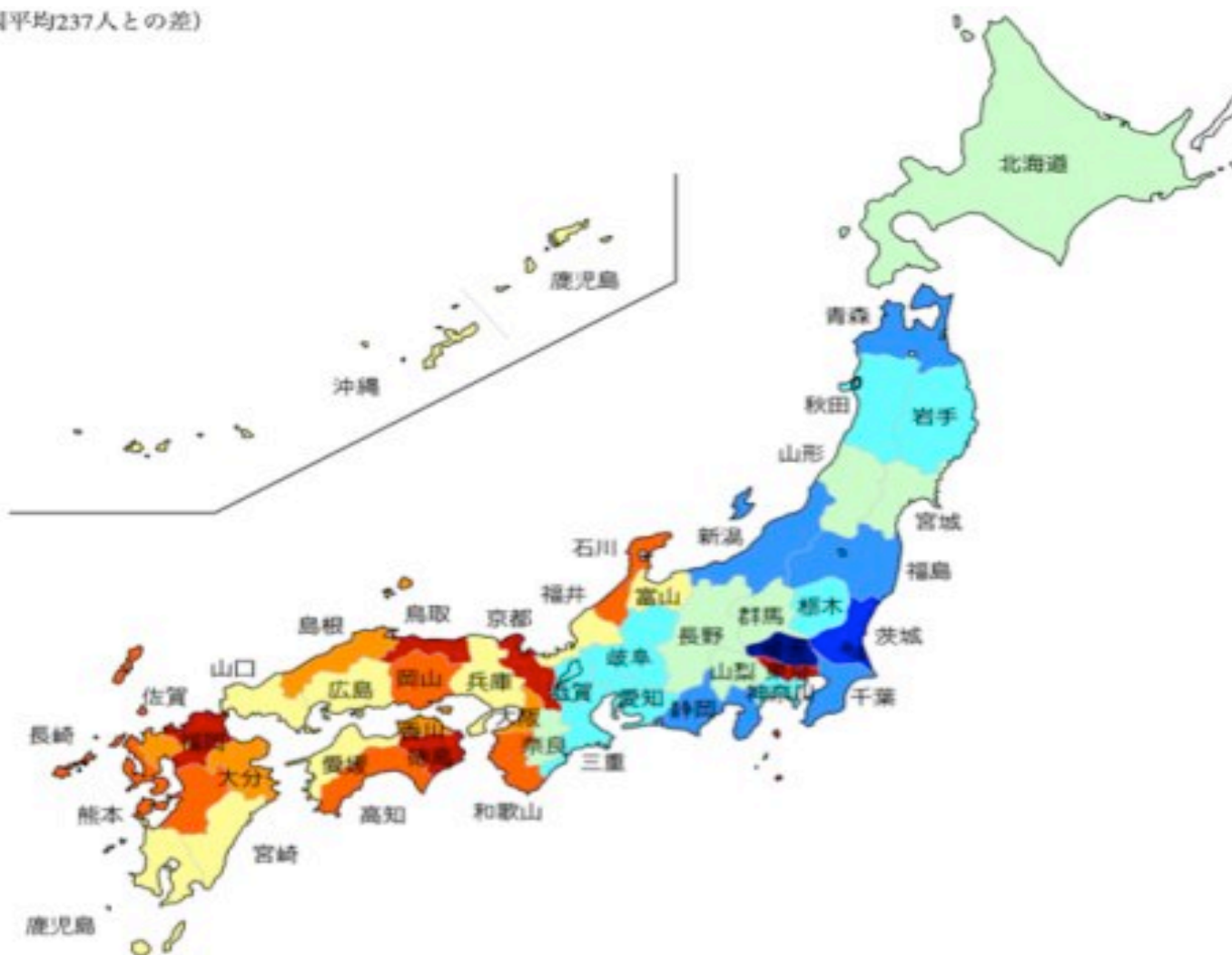
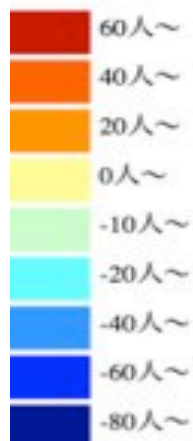
ほとんどの病院は赤字

赤字病院の割合

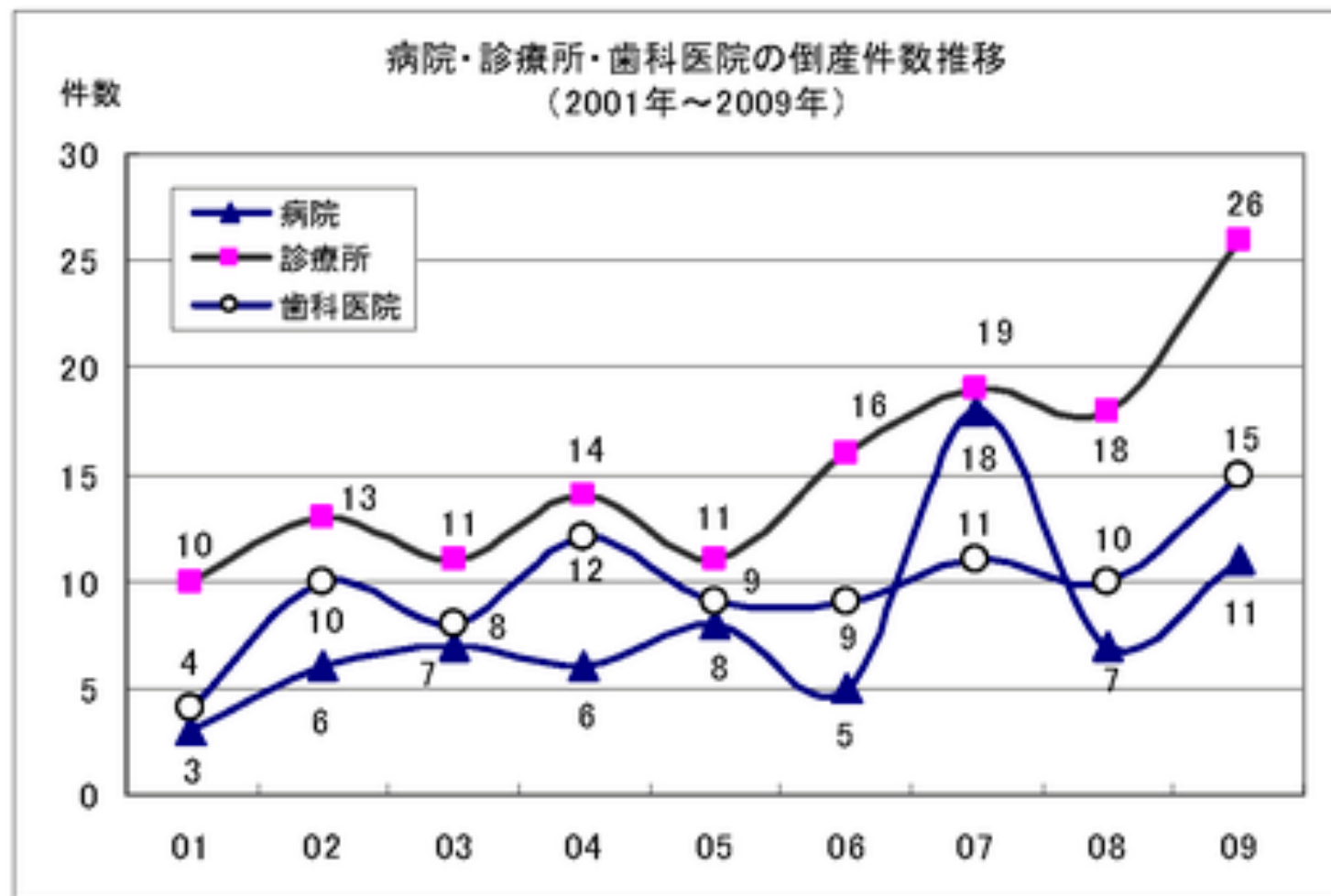


医者不足の地域格差

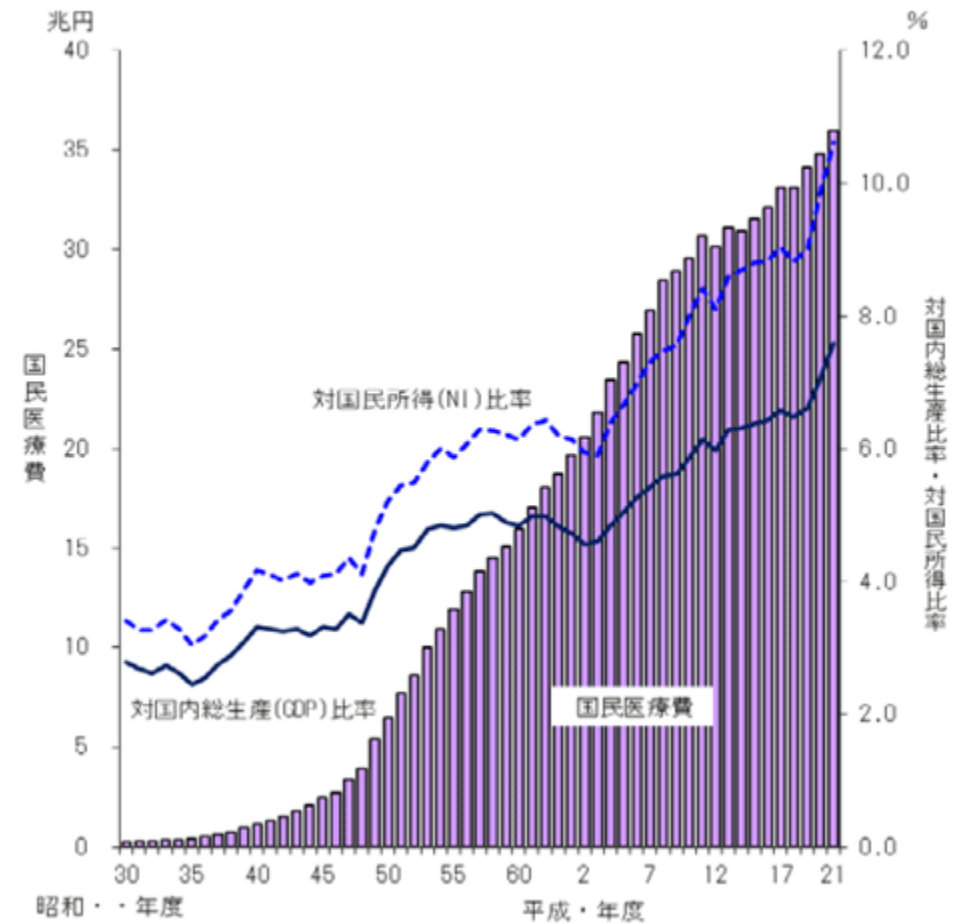
10万人あたりの医師数（全国平均237人との差）



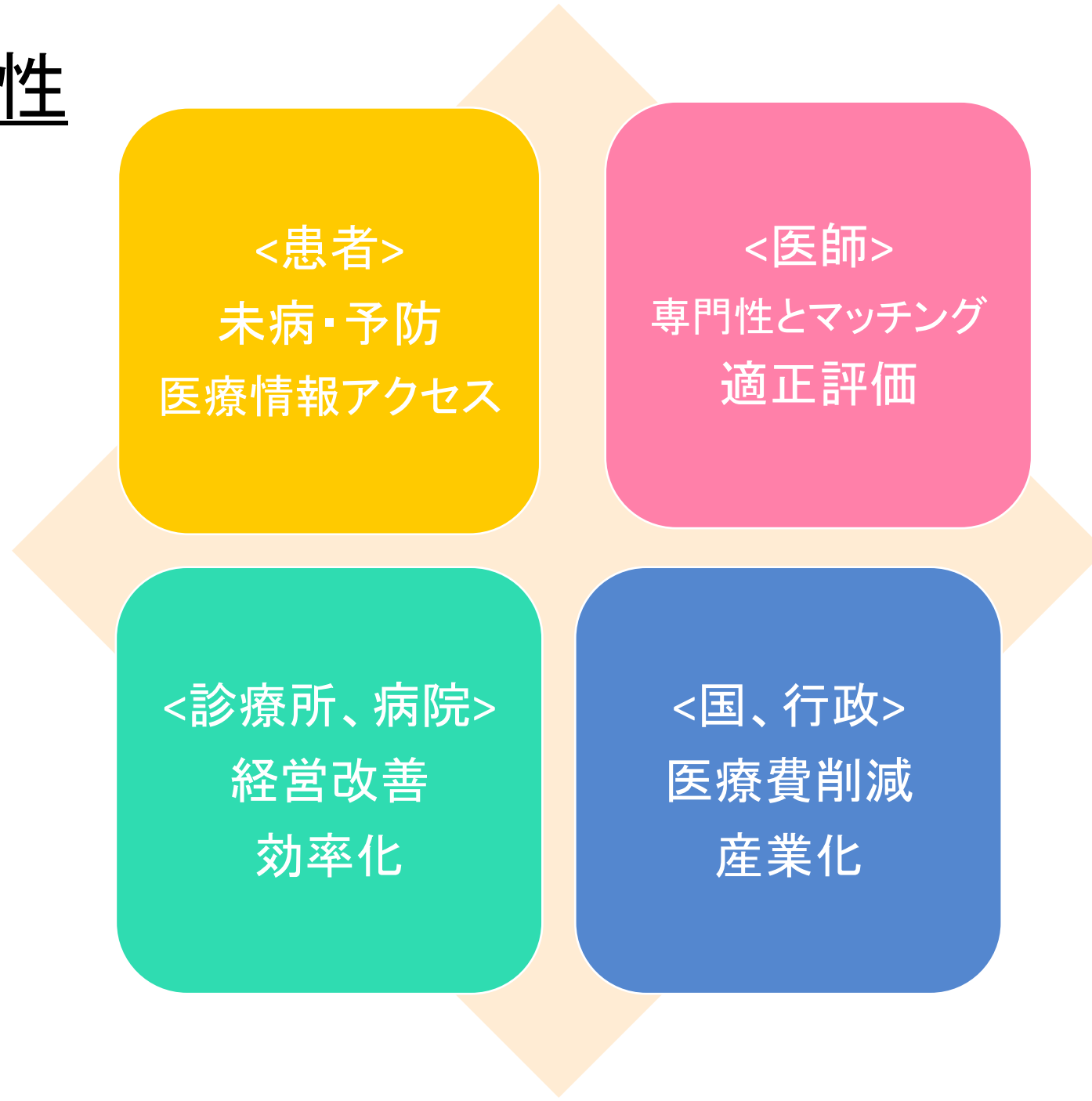
増加する病院の倒産



国民医療費の増加



解決の方向性



基本に戻るべき

いい医療を多くの人に提供する

→全体最適化



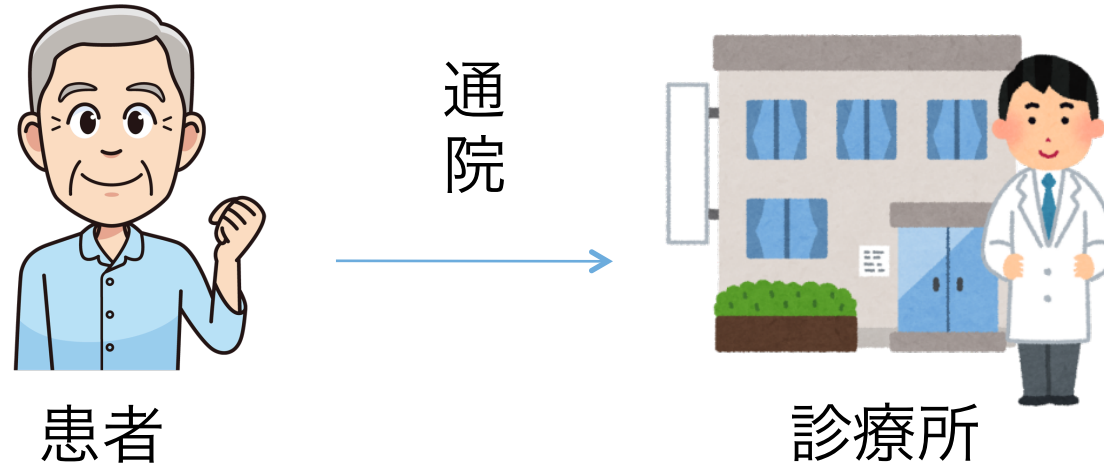
診療所は何をする所ですか？



診療所は一番生活近くの医療

診療所の目的・価値とは??

従来のクリニックでは基本的に疾患の治療がメインでした。



しかし、これからの診療所は、
患者、地域に一番近い医療機関として
『生活全体をマネジメント』する存在が
必要



医療課題の高い宮城県登米市全域をカバーする診療所
在宅診療

ホーム 患者情報 在宅予定 外来 検査 記録・文書 レセプト 情報・集計 オフライン 設定

テスト 患者 (テストカンジャ) ID:0100001
昭和42年03月04日生 46歳 男性 居宅

編集完了 中断 編集中止

入力支援メニュー
入力ウィザード
処方セット
検査セット
検査結果セット
検査結果セット
検査結果セット
検査結果セット
検査結果セット

処方タイプ ▼選択 診療科: 内科
診療日: 2013-03-31 23:45
次回診療日: 2013-03-25 10:00 予定表反映
医師: 専任医
医師ORCAID: 10001

体温: 血圧: 脈拍: SpO2: バイタル取得
SpO2値: 98.0

診療区分 定期訪問

写真: [ファイルを選択] 選択されていません
※写真のファイル形式はjpgのみ対応しています

保険済否
患者追加

行為
行為入力 設定セット 過去
<行為備考>

院外処方
処方入力 処方セット 過去処方 処方履歴
*内服薬
ロキソニン錠 60mg 3錠
疼痛時 14日分
コメント:
備考:

注射せん



NTTエレクトロニクス



SoftBank



ITの活用、診療アシスタント
医療者の診療効率を上げる



東京と登米の医師循環モデル
医療の質の格差をなくす



デザイン：オープンメディカルコミュニティ全員参加
型医療

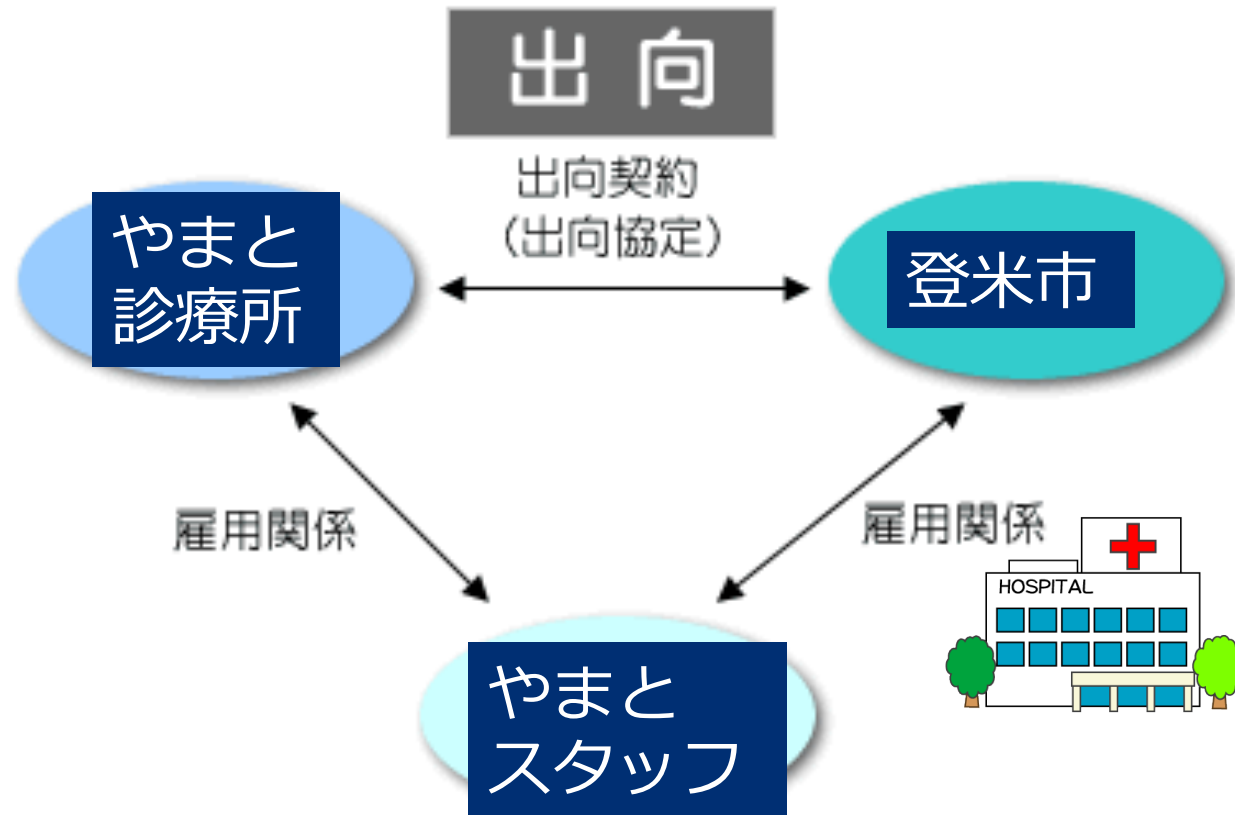


コミュニティカフェ：coFFee doctors
診療所が運営するカフェ



オープンメディカルコミュニティ
(OMC)

登米市地域医療行政アドバイザー



やまぎ 総合

総合診療医育成へ 医師にアドバイザー委嘱



布施市長（左）から委嘱状を受け取る星野医師

登米市は、同市の「やまと在宅診療所登米」に勤務する星野智祥医師（49）を市

総合診療アドバイザーに委嘱した。市は星野医師と協力し、外科や内科といった診療科の枠を超えてさまざまな患者を診る総合診療医を市内で育てていく。

アドバイザーは、市が地域包括ケア体制推進に欠かせない総合診療医を育てようと本年度新設。星野医師はプライマリーケア連合学会が定める総合診療医の指導医の資格を持つ。市と同診療所が協力して総合診療医を目指す研修医を3年間受け入れ、星野医師が同診療所や市立米谷病院などで指導に当たる。

星野医師の任期は来年3月までで再任が可能。13日に市役所で委嘱状を交付した布施孝尚市長は「地域医療体制が厳しい中にある。助言してほしい」と期待。星野医師は「力になりたい」と意欲を見せた。

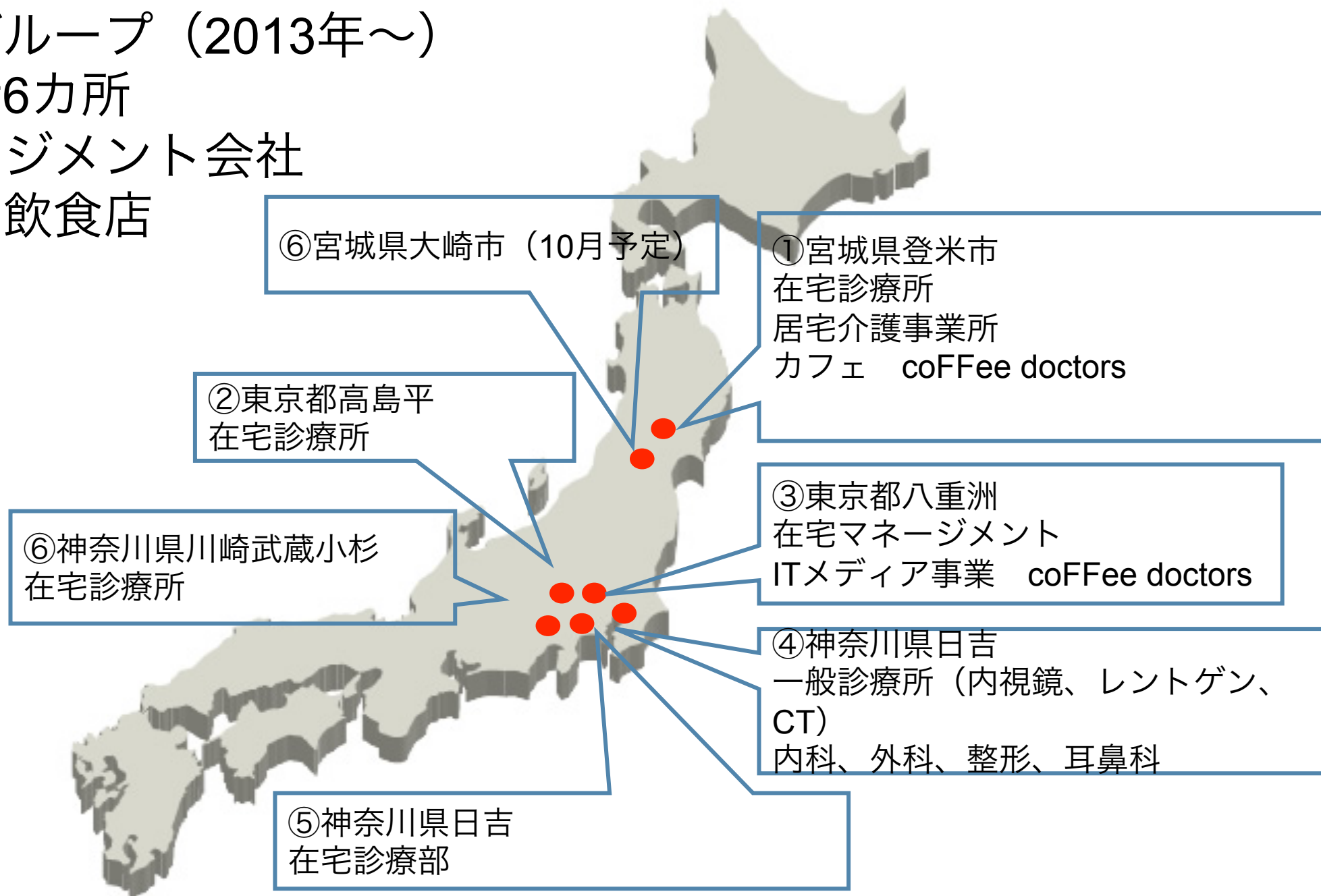
貴重な体験ができた」と話した。宮城農高の庄子知紘さん（16）は「岡山の人と交流する機会はないので新鮮だった。帰ったら宮農の被災状況を他学年の人にも伝えてほしい」と語った。

やまとグループ (2013年～)

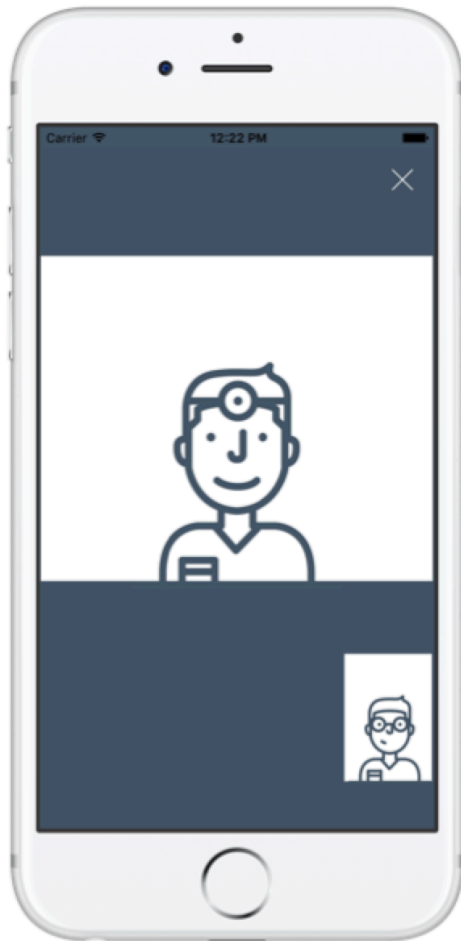
①診療所6カ所

②マネージメント会社

③カフェ飲食店



ト



クリニック選択
(初回は初診対面)



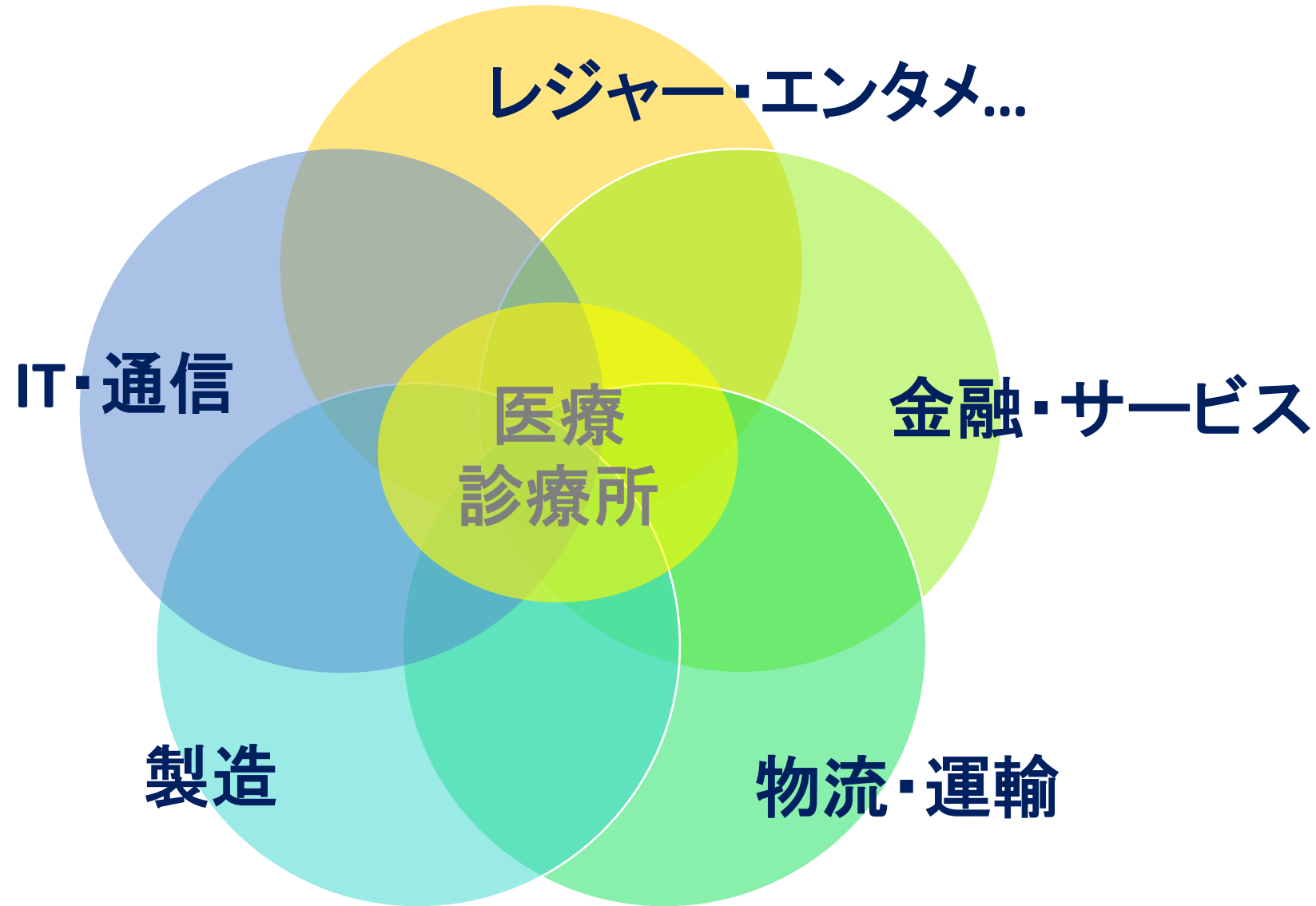
医療相談



診療所で新たなヘルスケアコミュニケーションの創造



診療所で●●×医療を広げ、地域を循環させていきたい



実際の現場で医療作りに参加しませんか？

パートナー企業様

アイディア
ノウハウ、スキル



やまと診療所

診療所グループ

新規医療サービ
ス

医療の現場で、様々な業界のアイディア、ノウハウを掛け合わせて、
新しい価値を生み出します。共同で事業展開を実現します。

A large, bold, black calligraphic character '志' (Shi) is centered within a thin black square frame. The character is written in a dynamic, expressive style with visible brush strokes and varying line thicknesses.

医療を通じて
日本を良くしたい